〇萌芽的研究・実践セッション（発表と対話）

〇主発表者：河野琳子（京都橘大学総合心理学部）
連名発表者：石山裕菜（京都橘大学）

〇 タイトル
応援時に用いるペンライトの色の一致・不一致がキャラクターの魅力評価に及ぼす影響　―推し活における色の効果の検討―

〇 発表概要
近年,ペンライトを用いた応援行動が行われている。先行研究では,応援に伴う身体動作や色の共有が対象評価に影響することが示されている。本研究は,応援時に用いるペンライトの色が対象の魅力評価に及ぼす影響を検討することを目的に実施した。
大学生 18 名を対象に,色の一致・不一致と身体動作の有無を独立変数，対象への評価の変化量を従属変数とした 2 要因参加者内計画で実験を実施した。参加者はアイドルキャラクターのライブ映像を視聴し,「好み」「魅力」「親しみやすさ」を評価した。
分析の結果,好み評価の変化量において色と身体動作の交互作用が有意傾向を示した。単純主効果検定の結果,身体動作なしでは,色一致条件の方が色不一致条件より好み評価変化量が大きい傾向が認められた。一方,魅力評価および親しみやすさ評価では有意差は認められなかった。
以上より,ペンライトの色の一致は,身体動作を伴わない状況で対象への好み評価を高める可能性が示唆された。一方，色の一致による心理的結びつきが十分に形成されなかった可能性があり，今後さらなる検討が必要である。また,応援者と応援対象との色の共有が対象への肯定的感情を高める可能性が示唆された。